

No.	意見 提出者名	指摘箇所	指摘事項	対応	修正の有無
1	渡邊 徳之 委員	—	「公共交通に対する公的資金投入(税金の活用)に対する意見」についても、項目として検討されてみては如何かと思いました。	ご指摘の通り、公共交通に対する公的資金投入について、住民の理解を深めるとともに、意見を伺うことは重要と考えます。 一般アンケート問16及び高校生アンケート問13は、公共交通の維持が難しくなった際の対応に関する設問としておりますので、新たに財政負担と公共交通の維持に関する設問を問17、問14として追加することしました。 これに伴い、追加設問以降の番号も全て修正しました。	有 (一般アンケート問17の追加 高校生アンケート問14の追加)
2	上条 洋 委員	—	○アンケート内容について アンケート冒頭の説明内容の中に「～40歳以上85歳未満の住民の方から1,000人を抽出～」とありますが、20～30代を除外している理由を教えてください。その理由が合理的でない場合は、普段公共交通をあまり利用しないであろう若者を恣意的にアンケートから除外したと言われかねない懸念があります。	本アンケート調査は、公共交通を利用する可能性の高い年代に重きを置く必要があると考え、飯島町の年齢別人口におけるボリュームゾーンでもある、40歳以上85歳未満を対象としています。 (参考：令和8年度第1回飯島町地域公共交通協議会【資料3】議案第2号)	無
3	上条 洋 委員	一般アンケート 問16 高校生アンケート 問13	○アンケート内容について 大人用アンケートの問16、高校生用アンケートの問13(共通の質問)の選択肢2について、 2. 税金を活用してでも、住民の足として運行を継続する → 今以上に税金による運行支援を増額してでも、(以下同文) に修正した方がわかりやすいと思われます。(既に一定程度の公金を投入しているため)	ご指摘の通り、既に一定程度の公金を投入していることを改めて理解していただく必要があると考え、一般アンケート問16及び高校生アンケート問13の選択肢2について、文言を修正しました。	有 (一般アンケート問16の選択肢2の修正 高校生アンケート問13の選択肢2の修正)

No.	意見 提出者名	指摘箇所	指摘事項	対応	修正の有無
4	上条 洋 委員	—	○アンケート回答にあたっての参考資料（町の公共交通の現状）の添付について 多くの町民の方は、現在の町における公共交通の現状と課題を理解していないと思われま す。その状況でアンケートを行っても感覚での回答になってしまうので、今の町の公共交 通の現状をわかりやすく簡潔に説明した資料を添付し、それを一読後に回答していただく方 が良いかと思われます。（最低でも、どんな公共交通があり、それぞれの利用者数の推移と現 在どの程度公費が投入されているか等と、今後は人口減少によりさらに利用者は減少してい く見通しのため現状維持が困難になっていく旨等を記載）	公共交通を普段利用しない方に も、飯島町の公共交通の現状を知っ ていただくための資料を追加しまし た。 併せて、飯島町役場のホームペー ジの「飯島町地域公共交通協議会」 関連の情報が掲載されているホーム ページアドレス及びQRコードを追 加しました。	有 （冒頭説明文の裏面 に飯島町の公共交 通の現状等に関する資 料を追加）
5	片桐 雅之 委員	一般アンケート問 23と問24の間に挿 入	持続可能な移動手段の確保および自家用車依存からの転換を捉えるため、どの程度公共交 通が充実すれば、住民が「マイカーを手放す（減らす）」かの動機を具体的に把握するた めの設問を追加（または挿入）することを検討していただきたい。 【例1】（一般向け調査票：問23と問24の間に挿入） 【問23-2】問22で「3～5」とお答えの方、またはマイカーを所有・利用している方にお伺い します。）どのような条件や環境を整えば、ご自身のマイカーの運転をやめる（返納す る）、またはご家庭の自動車を1台減らして、公共交通を利用しようと考えますか。 ＜あてはまるもの全てに○（複数回答可）＞ [利便性・システム] 1. 自宅のすぐ近く（徒歩3分以内など）から乗降できるようになること 2. 電話やスマホで予約すれば、15～20分程度で指定の場所まで迎えに来てくれること 3. 休日や夜間など、買い物・通院以外の時間帯や曜日でも運行していること 4. 伊那市や駒ヶ根市など、町外の病院や商業施設へ乗り換えな（またはスムーズな接続） で行けること [経済面・コスト] 5. 月額定額制や割引制度など、車の購入費及び維持費（ガソリン代・車検・保険等）に比べ て明らかに安く利用できること [安全・健康・生活の契機] 6. 運転に不安を感じたとき（ヒヤリハットが増えた、夜間・冬道の運転が怖くなったなど） 7. 家族や医師から運転の辞退や免許返納を勧められたとき 8. ネット通販や移動販売・配達サービスなど、車がなくても日常の買い物が完結できる環境 が整ったとき [意識・その他] 9. どんな条件が整っても、マイカーを手放す（減らす）予定はない 10. その他（具体的に： ）	ご指摘の通り、自家用車依存から の転換の動機を調査し、その動機に おける公共交通の影響度を把握する ことで、公共交通の利用率を向上さ せるためにどのような対策が必要か 検討の一助となると考えます。 そこで、いただいた設問例をもと に、一般アンケート問24②（新番 号）として設問を追加しました。	有 （一般アンケート 問24②の追加）

No.	意見 提出者名	指摘箇所	指摘事項	対応	修正の有無
6	片桐 雅之 委員	高校生アンケート 問20と問21の間に 挿入	持続可能な移動手段の確保および自家用車依存からの転換を捉えるため、どの程度公共交通が充実すれば、住民が「マイカーを手放す(減らす)」かの動機を具体的に把握するための設問を追加(または挿入)することを検討していただきたい。 【例2】高校生相当年齢向け調査票 問20と問21の間に挿入 【問20-2】(全員にお伺いします。) 将来、あなたが大人になって免許を取ったり車を持ったりした後も、「マイカーだけに頼らず、町の公共交通(バスや電車など)を使おう」と思えるのは、どのような条件やサービスがあるときですか。 <あてはまるもの全てに○(複数回答可)> [通学・通勤・お出かけの便利さ] 1. 電車の発着時間とスムーズに乗り継ぎができる交通形態になっていること 2. 伊那市・駒ヶ根市・飯田市など、高校・大学や遊べる場所(商業施設)へ直接行けること 3. 仕事帰りなどの帰りにも使える「夜間帯」の便があること 4. 休日(土日・祝日)も利用しやすい本数や時間帯に走っていること [使いやすさ・オトクさ] 5. スマホアプリで「いまバスがどこにいるか」や「予約・決済」が簡単にできること 6. 月額定額制や割引制度など、利用しやすい料金であること 7. 無料Wi-Fiや充電設備など、移動中も快適に過ごせる車内環境があること [家族依存からの脱却] 8. 親などの送迎に頼らなくても、自分ひとりで自由に目的地まで移動できること [意識・その他] 9. どんなに便利になっても、大人になったらマイカーしか使う予定はない 10. その他(具体的に:)	ご指摘の通り、自家用車依存からの転換の動機を調査し、その動機における公共交通の影響度を把握することで、公共交通の利用率を向上させるためにどのような対策が必要か検討の一助となると考えます。 そこで、いただいた設問例をもとに、高校生アンケート問15(新番号)として設問を追加しました。 これに伴い、追加設問以降の番号も全て修正しました。	有 (高校生アンケート 問15(新番号)の追加)
7	箕浦 税夫 委員	一般アンケート 問13 高校生アンケート 問10	回答選択肢に「月1回程度」とあるが、前後の選択肢に合わせて「1カ月に数回程度」とするのが良いのではないかと	当該設問の選択肢では、「1週間に数回」は、毎週定期的に利用することを想定した選択肢としています。また、「1ヶ月に1回程度」は、不定期に月1回程度利用することを想定していました。 ただし、ご指摘の通り、前後の選択肢との整合に配慮し、「1ヶ月に数回」と修正しました。	有 (一般アンケート 問13 高校生アンケート 問10 各選択肢の修正)